

宮の森中学校区 小中一貫した教育グランドデザイン

宮の森中学校 大倉山小学校 三角山小学校 盤溪小学校

札幌市の「小中一貫した教育」の目的

「自立した札幌人」の実現に向け、義務教育段階において
「知・徳・体の調和のとれた育ち」の一層の充実を図る



全市共通で推進する「二つの柱」

①課題探究的な学習

②発達の段階に応じた継続的な子供理解

札幌市の「小中一貫した教育」推進の四つの視点

①

②

③

④

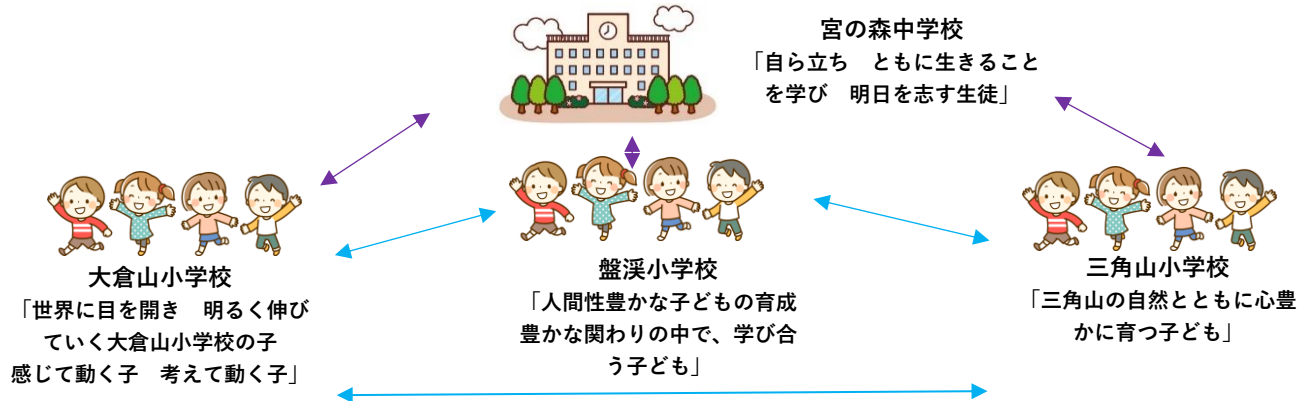
9年間を通した子どもの
学びのつながり

子ども理解・生徒指導の
連続性

教職員の連携・協議

家庭や地域との関わり

組織図と学校教育目標



宮の森中学校区・目指す15歳の子ども像

確かな知性をもって輝き 思いやりの心で 元気に過ごす人

地域の実態・願い

円山・宮の森風致地区にあり、閑静な住宅地である。陸上競技場・円山球場・大倉山ジャンプ台・ばんけいスキー場等の体育的諸施設、円山動物園・彫刻美術館等の文化的諸施設に恵まれている自然豊かな環境の中、教育に寄せる関心が高い。協力的な町内会の支援の下、地域ボランティア活動も盛んである。PTA 活動も、工夫を凝らして活動している。

子どもの実態

明朗で素直な子どもが多く、礼儀や基本的生活習慣が身につけている。学力テスト・全国学力状況調査の結果から、「知識・技能」の評価はどの学年も高い傾向がある。協調性を持ち、宮の森の歴史や自然に興味をもっている子どもが多い。様々な活動の習い事や塾に通っている率が高い。与えられた課題について熱心に取り組む姿勢がある、創造的に取り組む力や主体的に取り組む力をより一層育てていくことが課題である。

2つの柱と4つの視点を踏まえた教育目標

目指す教育

知

- ・主体的に課題を見付け、粘り強く学び続ける子どもの育成
- ・問題解決にむけて、思考力・判断力を発揮し、考えることの楽しさ、喜びを実感できる子どもの育成
- ・協働的な学びを通して、自ら問い続ける子どもの育成

徳

- ・いじめを許さない子どもの育成
- ・ありのままの自分を受け止め、思いやりをもって他者と関わる子どもの育成
- ・命を大切にする子どもの育成
- ・自己肯定感を持ち、自他を尊重する子どもの育成

体

- ・自己課題を持ち、進んで運動に親しむ力
- ・食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につける力
- ・性に関する正しい知識と命を尊重し大切に行動する力